

H A N A

花新聞

はなしんぶん

2019

vol.
48

北九州市建設局
公園緑地部みどり・公園整備課
〒803-8501
小倉北区城内1-1
TEL.093(582)2460



花新聞キャラクター
ヒッピちゃん

北九州市 お花



小さな苗の物語

花農家さんに聞きました!



花農家の思いもつくる苗作り。

ハウスの窓開けに始まり
窓締めに終わる毎日です。
花農家と一言でいっても、
切り花、鉢物、球根、苗物とそ

のになるから気は抜けません」と話してくれるのは若松区のハウスで花の苗をご夫婦で生産している田中千商さん。普段は何げなく購入している苗ですが、花農家さんはどんな思いで生産されているのでしょうか。出荷前の「よく咲くスミレ」や「ペチュニア」の苗に囲まれながら、じっくりお話を伺いました。

忘れていた土の感触を
思い出させる春の店頭。

寒さがゆるみ、春の訪れと共に気になつてくるのが庭の花壇や鉢植えたち。春先以降は大型スーパーやホームセンターの店頭にも、色とりどりの花の苗が並び、植え替え時期を知らせます。「育て方によって、全く違うものになるから気は抜けません」と話してくれるのは若松区のハウスで花の苗をご夫婦で生産している田中千商さん。普段は何げなく購入している苗ですが、花農家さんはどんな思いで生産されているのでしょうか。出荷前の「よく咲くスミレ」や「ペチュニア」の苗に囲まれながら、じっくりお話を伺いました。

花苗生産・卸
ガーデンセンショウ
たなか ちあき
田中 千商さん



れぞれ生産者が異なります。田中さんは苗物が専門で、タネを発芽させ、ポットに植え替え、花を咲かせて出荷します。品質の良さが認められ、年間25万ポットほどの苗が、公園や市場、スーパーの園芸コーナー、直売所などに納められます。

苗作りでもっとも
大変なことは何ですか?

ハウスの状態も影響が?
天候の影響は、ハウスだと
少ないのですか?

温度調整ができるわけではな
いので、天候は大きく影響し
ます。また、雨量が多いと洪水
が心配で、夜も眠れません。

明日、植え替えたくなる“小さな苗ができるまで”

一つひとつが自分の作品、
丹誠込めて育てます。

品質向上のために
していることは?



新規就農者を
暖かく迎え将来は
若松ブランドも。
同業者との交流は
あるものですか？



奥様との二人三脚で大事に育てます。

仕事をする中で
どのようなことに
やりがいを感じますか？

手をかけたことがすべて美しい花や、丈夫で長持ちする花など、やりがいがあります。直売所で私の納品を「待つとったんよお」とか、お褒めの言葉をいたぐと、心の中でガツツポーズします。



ポットに植え替えてカゴに並べる際、葉に光が均等に入るように、ぎっしり詰めずに、隣の葉とも重ならないよう余裕を持たせて並べます。数はすっと減りますが、品質を何より重視します。



みんな時間もとらずにがむしゃらに苗を作っていましたが、やっと息抜きを覚えました。

花農家として
今後の展望を
教えてください。



仲間を増やしたいですね。自分が始めたときは、教えてもらえる環境がなかったし、今よりずっと新規就農が厳しい時代。それでも協力してくれる人との出会いいで道が開けました。新規就農希望者には自分が手探りで遠回りして覚えたことなども教え、早く育ってほしいんです。ライバルができると思う人もいるようですが、仲間が増えて、若松や北九州全体で品質のよい花苗作りが盛り上がれば、街中にもきっと花壇が増えるはずです。そのためにも、一人でも多くの方に日頃から花と親しんでほしい。これからが、土いじりにも良い季節ですからね。

TOPICS

花や緑のスポットを紹介します！

北九州市エコタウンセンター

エコの風吹く屋上ガーデンには
花壇作りのアイデアがいっぱい！

工コは涼しげ
緑を取り入れた



葉が大きく育つように
花を早めに摘むといった
工夫もされています。

エコタウンセンターは、リサイクルや次世代エネルギーについて楽しみながら学べる施設。中でも注目したいのは緑を取り入れ、環境への負荷を軽減させため、緑のカーテンや屋上緑化に取り組んでいます。



写真は暖かい季節のもの。

随时、エコも学べる
ワークイベントを開催中です！



花壇の脇を固めるのは
リサイクル素材

ECOの文字にかたづられた季節の花が迎える庭園には、国や市が認めたさまざまな環境配慮型製品が使用されています。たとえば花壇脇の雑草を防ぐ



北九州市エコタウンセンター
北九州市若松区向洋町10番地20
TEL.093(752)2881

第9回 北九州市



受賞者発表



ひまわりBIGりコンテスト in school

第9回「ひまわりBIGりコンテスト in school」開催にあたり、たくさんのご応募ありがとうございました。

花BIGり部門

小倉北区
泉台小学校

1位



花の大きさ
34cm



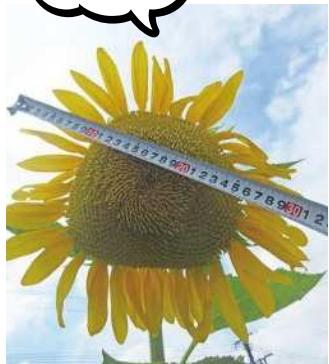
花BIGり部門

八幡東区
高見の森保育園

2位



花の大きさ
32cm



背丈BIGり部門

八幡東区
枝光小学校

1位

背丈の大きさ
447cm



背丈BIGり部門

若松区
石峯中学校

2位

背丈の大きさ
407cm



花BIGり部門

3位

門司区

小森江東小学校



背丈BIGり部門

3位

若松区

藤木小学校



背丈の大きさ

398cm



特別賞

小倉北区

白銀保育所



【受賞理由】

グングン育つひまわりの成長に合わせて、子どもたちが楽し
く絵を書いています。絵を通じて、ひまわりをじっくり観察を
している様子がうかがえます。

八幡西区

杉の子保育園



【受賞理由】

「土づくり」から「きれいな花壇ができる」ところまで、子ども
と先生がいっしょになって、がんばった様子がうかがえます。

第24回



「花と緑のまちづくりコンクール」 の募集について



募集期間

3月1日(金)～5月7日(火) 必着

応募対象

市内で花と緑づくりを行う個人、団体、学校、企業などを対象に、部
門別に募集します。各部門につき応募は1通までとします。

応募方法

郵送、または、みどり・公園整備課ホームページ内「花と緑のまちづく
りコンクール要項」に掲載の電子申請窓口より必要事項を入力の上
ご応募下さい。



2018年10月21日に、第23回「花と
緑のまちづくりコンクール」の表彰
を行いました。

建設局公園緑地部みどり・公園整備課事業推進係

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kensetu/ken-midori.html>



「フラワーコーディネーター紹介」

フラワーコーディネーター

おおばやし よしひこ

大林 義彦さん

(奥さま 聰子さん)

No.2

昔は家内が花壇の担当でしたが、私の運転で一緒に花の苗を買ってるうちに、だんだん興味が湧いてきました。そんな頃にフラワーコーディネーターの受講案内がきたので、やってみるかという軽い気持ちでした。

多趣味を活かしたコーディネーター

私の得意分野はコンテナ寄せ植えやハンギングバスケットの作成で、花コンテストでは度々賞をいただいている。ただ、それと同じくらい野菜作り、カズラのかご作り、写真撮影、バトミントンなども大好きな趣味です。フラワーコーディネーターとしてはあくまでも補助要員。それでもやるとなったら他の趣味や特技も活かし、楽しみながらのぞんでいます。

心おどる受講者の喜びの声



多趣味が高じて色々なものが作れてしまう大林さん。

数年前にある中学校から花壇作りの指導を頼まれたときは、初めて挑戦する中学生と地域の人との作業でした。こども達は一度教えると二度目からは結構上手に植えられるようになり、花壇もなかなかの出来映えに!後日、私が撮った写真データで市の花コンテストに応募したら受賞し、花壇はいたずらされることなく大事に管理されたと先生から喜びの声も聞けました。花がそうさせるんでしょうね。

みなさんもお気軽にフラワーコーディネーター制度を利用してください。

※毎号ごとにフラワーコーディネーターを掲載していきます。



大林さんのご自宅の花たち



「フラワーコーディネーター制度」をご存知ですか!?

「もっと花に詳しい人がいればいいなあ」「どうやって花と縁づくりをしたらいいの?」とお思いのみなさんに、フラワーコーディネーターがアドバイスを行います。



対象

北九州市内の公共性の高い、市民センター、学校、福祉施設、商店街、市民花壇などで、花づくりを行っている団体。

出張指導内容

*花づくり講座などの講師 *植え付けなどの実技指導 *花と縁に関する講演
種からの花づくり、花の植え方、花壇のデザイン、ハンギングバスケットづくり、バラの栽培などを、講座や実技形式で指導します。

ご利用の際の注意事項

材料や道具などはみなさんがご準備をお願いします。また、指導費用はいただきません。

お問い合わせ・お申し込み

北九州市建設局「みどり・公園整備課」まで ☎093-582-2460



春・夏

のおでかけインフォメーション



北九州市立白野江植物公園 <http://www.shiranoe.com/>



◆さくらまつり

期間：3月30日(土)～4月7日(日)
さくらめぐりスタンプラリー、土は地元特産物や植木・花苗などの販売

◆花のゴールデンウイーク 春の公園まつり

期間：4月27日(土)～5月6日(月・祝)
公園市、そよ風コンサート、お茶席、園芸体験など春の自然をたのしむ催し物を開催

お問合せ：北九州市立白野江植物公園 ☎093-341-8111

入園料：一般200円、小中学生100円

※4月1日(月)から入園料が変更となります。一般300円、小中学生150円

開園時間：9時～17時

無料入園日：5月4日、5日 どなたも無料で入園いただけます(駐車料金は有料)

※休園日：火曜日、年末年始、ただし、2～6月、9～11月は無休

北九州市立総合農事センター <http://k-nouji.com/>



◆梅まつり 2月2日(土)～3月3日(日)

農事センター梅園で、16品種170本の梅が咲き誇ります。園内の直売所やカフェで期間限定の梅商品も楽しめます。ぜひご来園ください。

◆ばらフェア 5月11日(土)～6月2日(日)

リニューアルした農事センターのばら園の美しいバラを楽しめます。バラスイーツも登場予定!みなさまご期待ください。

お問合せ：北九州市立総合農事センター ☎093-961-6045

入園料：無料

開園時間：9時～17時(4月以降は18時閉門)

夜宮公園



◆第31回とば菖蒲まつり2019

開催日：6月8日(土)・6月9日(日)
11時～16時

50種2万本の花菖蒲が咲き誇り、バザー、ステージイベント、蚤の市などををお楽しみ頂けます。また、まつりの期間以外にも、初春の梅に始まり、桜、5月上旬のなんじゃもんじゃ、秋の紅葉と四季を通して彩りを楽しめます。

お問合せ：戸畠区役所総務企画課 ☎093-871-2316

住 所：戸畠区夜宮1丁目

開園時間：入場自由

北九州市 水と緑の基金

北九州市「水と緑の基金」は、昭和61年に設置された基金で皆さんの緑化活動を支援します。

生垣等による緑化

樹木による緑化

花壇などの設置

緑化関係活動

助成対象地域など、詳しい内容については、緑課みどり・公園活性化係(582-2466)までお問合せください。また、「水と緑の基金」では、事業内容の充実を図るため、寄付金を募っています。

響灘緑地・グリーンパーク <http://www.hibikinadagp.org/>



◆2019ファミリーフラワーフェスティバル

3月21日(木・祝)～5月6日(日)

◆2019春のバラフェア

5月11日(土)～6月9日(日)

フラワーフェスティバルでは、チューリップやスイセン、ネモフィラなど春を代表する花々19種類約15万株が園内各所で彩ります!春のバラフェアでは320種、約2,500株のバラが咲き誇り、春の開花リレーをお楽しみ頂けます。

お問合せ：響灘緑地管理事務所 ☎093-741-5545

入園料：一般100円、小中学生50円

※4月1日(月)から入園料が変更となります。一般150円、小中学生70円

開園時間：9時～17時 ※火曜日休(3月26日、4月30日、5月14日、5月28日は開園)

到津の森公園 <http://www.itzu-zoo.jp>

◆ミモザ・サクラフェア 3月1日(金)～3月31日(日)



当園では、この季節約100本のミモザの花が咲き乱れ、芝生広場周辺は黄色い花のカーテンに覆われます。引き続きサクラも開花し、園内は花々で色鮮やかな春色に染まります。皆様も是非、到津の森公園で春の訪れをお楽しみください。

※混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関でご来園ください。

お問合せ：到津の森公園 ☎093-651-1895

入園料：大人800円、中高生400円、4歳～小学生100円

開園時間：9時～17時 ※3月5日(火)・12日(火)は休園

平尾台自然の郷 <http://www.hiraodai.jp/sato/>



◆プラス・フェスティバル in 平尾台

開催日：4月28日(日)10時～16時
北九州を中心活動するプラスバンドが平尾台に大集合。雄大なカルスト台地を望みながら、パレードや野外コンサートをお楽しみいただけます。
※雨天の場合4月29日(月・祝)に順延

お問合せ：平尾台自然の郷 ☎093-452-2715

入園料：無料

開園時間：9時～17時(12～2月は10時～16時)

※休園日：火曜日

スポンサー花壇協力企業・団体のご紹介

平成30年度にご協力をいただいている皆様です(順不同、敬称略)

●北九州東部緑地管理株式会社 ●北九州病院グループ

●黒崎播磨株式会社 ●株式会社安川電機

●九州旅客鉄道株式会社 ●有限会社工基

●九鉄工業株式会社 ●ニッカウヰスキー株式会社 門司工場

●株式会社トット不動産

●公益財団法人 芳賀文化財団

●特定社会福祉法人 年長者の里

●北九州市建設OB会(勝山会)

スポンサー花壇は、JR小倉駅など市内の主要な箇所に設置した花壇に、年間の維持管理等のために協賛金をいただき、質の高い花壇作りを行なうものです。

